

【報告】

概要：【割れ窓理論】実践により、京都の中心街である四條界隈の景観と軽犯罪防止に取り組む。

① 企画段階

ロータリアンが実践している活動の中でローターアクト向けであり、かつ地域に貢献出来る活動はないかと探した結果、京都南ロータリークラブが積極的に行っている【割れ窓理論】がいいのではないかとという案が出ました。また、同じような活動を過去にアクトの日でも行っていたと聞き、企画を進めました。内容的に地域だけでなく、京都府、京都市に働き掛け後援をいただくことにより、京都市からのプレステージをいただけるようにもなりました。

また、事前に何度も四條周辺を実行委員が歩き回り、念入りに清掃場所の確認を行いました。

② 当日を通じて

事前に告知を行い、ピラも配りましたが一般人の参加がほとんどありませんでした。この点については、もう少し徹底した広報活動が行えばよかったと思います。

当日は六班に分かれ、それぞれの担当エリアへと別れ清掃活動を行いました。

メインである落書き消しは定期的に商店街が行っている事もあり、比較的早めに終わることが出来ました。しかし、道路上のガムの剥がしは時間が経つにつれて、気温が上がりだんだんと剥がすのが困難になっていきました。また、メインストリートでは比較的端のほうにしかガムはないのですが、路地へ入ると道一杯にガムがへばり付いており、ロータリアンも含め、皆かがみながらスクレーパーで剥がしてっていました。

応援に来ていただいていた市の職員の方や元々【割れ窓理論】実践されているロータリアンから現場でその状況を知り、一緒に活動出来たことは多くのアクターにその現状を知ってもらえるいい機会となりました。

